



「演劇の可能性」って?? 誰にでも体験できる演劇＝応用演劇ワークショップ



皆さんは「応用演劇」という言葉を聞いたことがありますか? 「演劇」って、ちょっと特別で、一部の限られた人しかできないような、そんな世界のように感じていませんか?

「応用演劇」とは、演劇的な要素を使い、誰でも気軽に楽しめるようにした表現活動です。舞台発表や技術向上を目的とせず、創作活動の中で得られる様々な気づきや学びを重視します。その効果は、コミュニケーション能力や想像力、自己理解、協働など多岐にわたります。

すでに欧米では教育現場はもちろん、企業や病院、刑務所、高齢者・障がい者施設といった場での活用が進んでいますが、日本においてはごく限られた場にとどまり、一般の方にその活用はほとんど知られていません。

そこで、私たちはたくさんの場で効果を生み出しているこの「応用演劇」を、広く知っていただく機会を増やしたいと考えました。

講師にお招きした花崎攝さんは、日本のみならず海外でも活躍を続けている応用演劇のプロフェッショナルな方です。今回は、その数々の実践をご紹介いただき、ワークショップも参加者の皆さんに体験していただきます。

自分の身体を通して、新しい学び＝「応用演劇」の効果を実感できるまたとない機会です!

たくさんの方のご参加をお待ちしております。



はなさき せつ
講師 **花崎 攝** シアター・プラクティショナー (演劇デザインギルド)



早稲田大学卒業後、劇団黒テントに参加。ロンドン大学ゴールドスミス校で芸術学修士を取得。現在は主に応用演劇の分野で活動。演劇を通して色々な人が出会い、社会や自分のことについて、いつもとは違った仕方と共に考えるプロジェクトを多数行っている。日本大学芸術学部、武蔵野美術大学、立教大学で非常勤講師。主な仕事に、世田谷パブリックシアター主催「地域の物語」、NPO法人ぶかぶか主催「みんなでワークショップ」、ことぶき「てがみ」プロジェクトなどの障がいのある人との活動など多数。海外でも平和構築プロジェクト(インドネシア・アチェ2006-09)(イラク・ドホーク2022~)、環境教育プロジェクト(フィリピン2014~21)、その他。

大学生と地域の小学生「小さな夏休み」企画



ことぶき「てがみ」プロジェクト(精神科デイケア母体)

「応用演劇」を知って、体験して、感じてみませんか? /

演劇の可能性

当日の流れ

知る・体験する・感じる



前半 **知る**(約60分)

学校や大学などの教育現場、障がい者・高齢者との活動、地域での市民共同創作、海外では紛争地域の平和構築プロジェクトでの取り組みなど、多数の実践事例をご紹介します。

後半 **体験する・感じる**(約100分)

参加者の皆さんで実際に応用演劇を体験してみましょう。身体を動かすことで発見することや感じるがあります。活動の対象や目的による違いを感じたり、体験を振り返って理解を深めます。



主催団体

アープス

All Alive Project 埼玉 (AAPS) って?

すべての人がその人らしく輝き、ともに生きる豊かな社会の実現に貢献することを目的に、応用演劇の活用と普及を目指して活動する任意団体。誰でも気軽に参加、体験できる応用演劇ワークショップを定期開催。

Web : <https://aaps.jimdosite.com/>

Blog : <https://aaps2017.blogspot.com/>

